

ふれあい

治田小 学校だより

2023年6月30日

栗東市立治田小学校

NO.10

なぜ?と思う気持ちを大切に

右の写真は、3年生理科「風とゴムの力のはたらき」の学習で、子どもたちが実験をしている様子です。子どもたちは、自分が作った車をできるだけ遠くまで走らせようと、車の後方につけている帆を調整したりしながら、何度も試行していました。

この「なぜだろう?」という思いを持ち、「帆の向きを調整すること」や「何度も試すこと」が、理科の学習にとっては、大切なことだと考えています。

「帆の向きを調整する」ことを通して、「どうすれば風を上手に受けることができるか」を考えたり、風や帆の働きに気づいたりすることができます。また、複数回、試してみることで、「なぜ、1回目と2回目の実験結果は違ったのだろうか?」と疑問に思ったり、実験結果について友だちと話し合ったりすることが、思考力を育てることにつながっていきます。

子どもたちの中に、「なぜ?」という疑問を生じさせることができればしめたものです。そのことをきっかけにして、いろいろと発展的に学習を広げていくことができるからです。

子どもたちの「なぜ?」「不思議だな」と思う気持ちを、これからも大切にしていきたいと思えます。



読み聞かせ(1年生)

先日、栗東図書館の方をお招きして、1年生が絵本の読み聞かせをしていただきました。お話が始まると、子どもたちの気持ちが絵本に集中していく様子が、手に取るように感じられました。お話の中身を楽しんだり、時には歓声をあげたりしながら、読み聞かせの時間を楽しみました。

入学してから2か月余りが過ぎましたが、この間の1年生の成長には目を見張るものがあります。

もうすっかり治田小の子どもです!



校長 田中 覚